

広葉樹シーズンイン

弊社の 2024 年広葉樹買い付けシーズンが 10 月から始まりました。まず初めに 10 月 14 日（祝日）に盛岡に出かけてきました。当日お休みだったので下見をしている方は私達を含めて 3 人でした。どの程度入札参加されるのか全く解りませんでした。

市の結果は 17 日に解りました。結果から報告します。

- 1, 東北地方の豪雨災害の影響は有ります。針葉樹も広葉樹も出材は昨年より少ない。
- 2, 針葉樹原木価格が低迷しているから広葉樹の伐採を増やしたい意向だと聞いているが、それは 11 月と 12 月の出材量を把握しないと解らない。
- 3, 白手の樹種（ブナ・トチ・シナ・サワクルミ）の出材は少ない。
- 4, 檜が高い傾向は継続している。
- 5, クリは全体の出量は昨年より少ないが、上級材も価格は横ばい。
- 6, ホオ材は用途が非常に少ない。
- 7, サクラ材は北海道産に比較しても同等以上の品質を維持している。
- 8, ケヤキは特に太い原木を除き価格は低迷している。（以下の 2 枚の写真は東北です）

上記のことから、お勧めはクリ材とサクラ材です。檜材に関しては、ピークアウトしているのかはまだ今のところ解りません。ホワイトオーク材のアメリカ国内の樽の注文がピークアウトしている事実を聞いています。日本国内の樽需要が昨年と同等なのか、それともピークアウトしているのかはまだ解りませんが、雰囲気だけで言えば横ばいではと感じています。



次に 10 月 18 日に開催された旭川の銘木市に参加してきました。服部商店の方針は決まっています。檜材を例に出します。檜材がピークアウトしているのかそれとも横ばいなのかはあくまで中間材の価格動向だけです。上級材は枯渇している為に多少の価格変動が有っても、量的には限られた資源だと思って下さい。

服部商店は大阪で広葉樹を扱っている業者です。ライバルは東京の業者です。様々なチャンネルからライバルの情報を得ていますが、彼等に負けないようにする方法は以下だと考えています。

- 1, 関東の業者は比較的一物件当たり高額な仕事が多い様に聞いています。
- 2, 製材機械を持っている業者もいますが、大半の業者は製材を名古屋地区に依存している。
- 3, 例えば、櫛材は高騰しています。高品質材は特に貴重ですが単価を出して頂ければ入手は不可能ではない。その情報を御客様に正確に伝えていない。



上の2枚の写真は旭川の土場の写真です。東北より遥かに少ないです。現在の広葉樹のトレンドは、ホワイトオーク・櫛・タモです。ホワイトオークと櫛材の突板は原木からの生産しかできません。しかしタモは違います。

タモの柵目の突板を作る為には輸入されているタモの柵目板を使って単板を作る方法があります。（タモ材の板目の単板は板の反りが多いので作ることは難しいです）
タモ柵目の単板の作り方です。

- ①目切れや色むらの少ない柵目材を調達します。
- ②仕入れした板を水に十二分に浸し生材の状態まで含水率を上昇させます。
- ③生状態の板をプレナ掛けして削ります。
- ④削った板をボンドで引っ付け4枚以上の板を合わせ盤にします。
- ⑤それをスライサーで単板を作ります。

タモ材の柵目単板はこの方法で作れますが、櫛材は無理です。それは櫛材の斑（ふ）が有るからです。（服部商店は御客様からの要望で、スプルースの盤厚み 185 ミリ巾 450 ミリ長さ 2000 ミリの乾燥した盤から 1 ミリの単板を作ったことが有ります）

タモ材の日本国の流通している材の特徴は以下です。

- ①板目材(27 ミリ・34 ミリ・40 ミリ)の板目の中210 ミリ上の板が不足している。
- ②柵目の板(34 ミリ・40 ミリ・45 ミリ)は中国経由のロシア材の輸入材が有る。
- ③10数年前なら溢れ返っていた50 ミリ～60 ミリ厚の中450 ミリ上の耳付き板の流通量は極めて限られている。 以上の様な情報から、タモ原木の良質材と櫛原木の良質材は北海道しか手当てできません。勿論ホワイトオーク原木やウォールナット原木の手当は今後も行っていますが、それ以上にマーケットは確実に縮小傾向に輪をかけると考えています。
- ①人口減少は止まる気配がない。
- ②都心部の一等地と周辺部との格差は縮まらない。

③抜本的な構造改革（様々な国の中の偏在を少なくすること）に着手できない。

①～③の3項目を上げましたが、もっと大事なことは女性の活躍する会社作りだと考えています。

AIの急速な進化で、今までの営業スタイルは変更を余儀なくされます。以下は11年間乗り続けた家内のクルマの購入での出来事です。

①購入したい車のテストドライブ。

②購入したい車の購入方法のIT化の進歩。

大きく分けて上記2つに集約できます。要は一般の営業という職業が無くなるのです。車が常時ネットで繋がっている時代の到来です。これは事故から故障迄あらゆるサービスがIT化されるのです。この現象から見ての判断は、木材の販売は関係ないという発想は物凄く危険な考え方だと思います。

木材は凄く貴重なコンテンツです。このコンテンツの生かし方がこれからの世の中から問われることだと思います。素晴らしいコンテンツを生かすには所謂営業スタイルの変更が重要です。北海道の2社の女性の活躍方法の違いです。

* 内部調整は解りませんが、女性の登用を5年前から始めている。

* 男性営業が不足しているから、女性の営業を設けた。

上記の事は同じ様に見えますが、本当に同じでしょうか。後記は女性蔑視の考え方ではないでしょうか。木材は素晴らしいコンテンツです。しかしこの素晴らしいコンテンツの生かし方は各企業さんで様々だと思います。規模の大小ではなく哲学の有無だと考えています。そんな世の中を作る以外に我々木材業者は生き残れないと思っています。

A I（アーティフィシャル・インテリジェンス）の生かし方

今回の出張の具体的な報告は避けます。あらゆる情報を表に出すと、AIで分析される時代が始まっているからです。

AIの活用方法は服部雅章にとっても服部商店にとっても初めての体験ですが、この活かし方が問われる時代が始まっていると考えることが最も重要です。

今のところAIを無料で使っていますが、もうすぐ有料の時期は来るとしています。AIでできないことは何、AIでできることは何と、はっきり表現はできませんが、AIで出来ないことは更に狭くなり、人類が本来持っている知性が試される時代の始まりだと考えています。今月14日に66歳になりましたが、時代とともに、更に進化したいと思っています。以下はAI時代に生きる為の工夫です。

* 様々情報を公開します。『継続した取引をして頂けるお客様限定で行います』

* AIは確実に成長します。その成長に負けない、あらゆる取り組みを行います。

* 木材資源は確実に良質材だけではなく、中間材の流通も劇的に変化していきます。

* 常識と非常識という分け方はAIの登場で更に変化を齎し価値観の変化を加速する。

以上のことから、新しいビジネスの方法にチャレンジします。女性がもっと活躍する事とは何か。11月にチャレンジします。内容は11月の服部新聞で報告します。

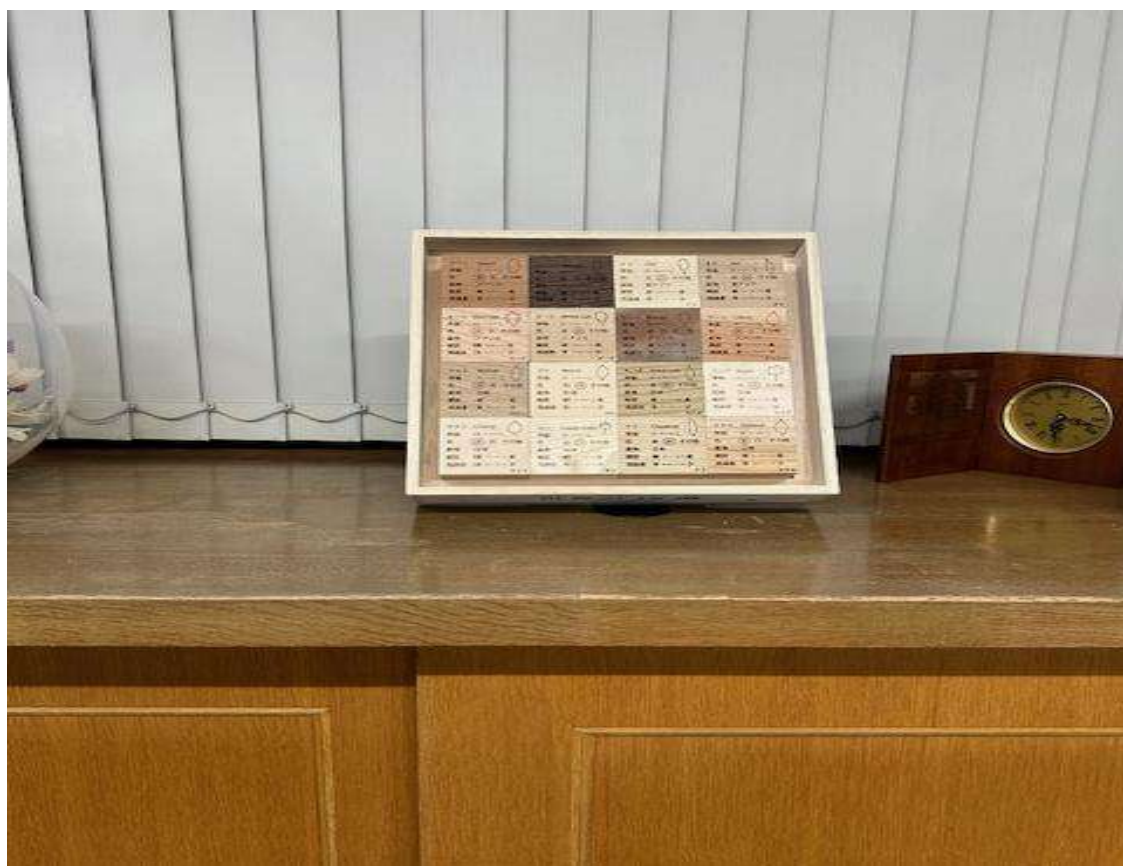
服部新聞の購読者の皆様限定です。

全ての情報はネット上にある様に見えますが、そうでない情報もあります。あらゆる情報があふれている時代だからこそ、無垢材の良さを手に取って触って、香りも嗅いで下さい。AI が進歩しても素晴らしいコンテンツの無垢材を生かすも生かさないもあなた次第です。この商品は、そうぞうざっか (<https://www.sozozakka.net/>) のオンライン通販で販売していますが、**特別に「桐箱入り」、送料・消費税込み 20,000 円にてご購入いただけます。**

別紙の QR コードから直接ご注文ください。

※上記価格は、このお便りを受け取られた方限定のものです。

専門家向雑貨 ものづくりブロック（世界の 16 選）



〒596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1

株式会社 服部商店

代表取締役 服部雅章

TEL. 072-438-0173

そうぞうざっか

「そうぞうざっか」の意味は、雑貨とは本来使う方が何に使うかを定めるものであると思いますが、販売する側がインテリア雑貨・服飾雑貨と命名しています。住まいの設計と同じ感覚、つまり想像して創造するのが本当の姿だと思っています。

特別価格でのご購入はこちらから

開いたページに以下のパスワードを入力してください

パスワード：0173



運営：株式会社マデラスタイル